

2023年度当初予算の概要（スポーツ局関連）

款 教育・スポーツ費
項 スポーツ費

(単位：千円)

目	管理事業名	2023 (R5) 当初予算額	2022 (R4) 当初予算額	主な増減理由	参考資料
	主な事業				
スポーツ振興費		8,774,576	3,479,333		
スポーツ総務事業		1,202,049	974,823	定数増による人件費の増によるもの	
スポーツ振興事業		143,003	147,848		
	あいちスポーツコミッション事業費	84,879	87,204		○
	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知開催費負担金	55,000	55,000		○
	第4回世界弓道大会開催費負担金	3,124	—	新規	○
	スポーツ推進計画策定費	—	4,060	事業終了	
スポーツ競技事業		425,238	358,535		
	あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業費	100,442	100,387		
	国民体育大会派遣費	103,761	80,352	開催地の異動（夏季：R4栃木県→R5鹿児島県）によるもの	
	地域スポーツ活性化事業費補助金	30,000	—	新規	○
	全国障害者スポーツ大会派遣費	44,420	37,910	開催地の異動（夏季：R4栃木県→R5鹿児島県）によるもの	
	障害者スポーツ推進事業費	20,443	22,155	競技用具購入費の減によるもの	○
	競技力向上対策事業費補助金	48,397	32,797	補助メニューの新設によるもの	
	第5回世界身体障害者野球大会開催費負担金	4,000	—	新規	○
第20回アジア競技大会推進事業		7,004,286	1,998,127		
	推進事務費	30,290	25,229		○
	アジア・アジアパラ競技大会愛知・名古屋合同準備会負担金	173,099	121,270	バリアフリーガイドラインの作成等に係る経費の増によるもの	○
	愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会負担金	5,269,241	994,510	競技・輸送対策、会場整備等に係る経費の増によるもの	○
	市町村施設改修事業費補助金	71,240	25,468	補助対象市町村の増によるもの	○
	アジア・アジアパラ競技大会基金利子収益積立金	10,158	5,000	基金残高の増加に伴う利子収益の増によるもの	
スポーツ施設費		1,819,126	2,033,686		
スポーツ施設管理運営事業		1,708,233	1,364,588		
	スポーツ施設整備費	1,365,911	1,096,728	長寿命化改修工事等に係る経費の増によるもの	
	豊橋市多目的屋内施設整備促進費補助金	27,500	—	新規	○
新体育館整備推進事業		110,893	669,098	埋蔵文化財発掘調査等に係る費用の減によるもの	○
計		10,593,702	5,513,019		

スポーツ大会を活かした地域振興を推進します

予算額 143,003千円

スポーツ局スポーツ振興課
企画・広報グループ
内線 2580・2581
(ダイヤル) 052-954-6247

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげます。

1 あいちスポーツコミッション事業費 84,879千円

地域の関係者と連携したスポーツ大会の招致・育成活動など

【あいちスポーツコミッション構成団体】

県、市町村、スポーツ関連団体、経済団体、観光関連団体、マスメディア、スポーツ大会に関心のある企業・NPOなど

【主な活動内容】

○スポーツ大会に関する情報収集・発信

大会情報の収集や、フリーマガジン「aispol」・Webサイト・SNSなどを活用した大会情報の発信

○スポーツ大会の招致・育成

「FIA世界ラリー選手権ラリージャパン」や「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」、「新城ラリー」の開催支援など

○スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

スポーツ大会の集客力や情報発信力を活用した地域の魅力発信など

2 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 開催費負担金

55,000千円

世界最大の女子マラソン「名古屋ウイメンズマラソン」や、女子車いすマラソン「名古屋ウイメンズホイールチェアマラソン」などの開催費に対する負担

3 第4回世界弓道大会開催費負担金（新規）

3,124千円

2024年2月26日（月）～3月4日（月）に日本ガイシホールで開催される世界弓道大会の開催費に対する負担

地域スポーツの活性化に向けて 総合型地域スポーツクラブを支援します

スポーツ局競技・施設課
調整・地域スポーツグループ
内線 3976・2303
(ダイヤルイン) 052-954-7471

予算額 30,000千円 (新規)

地域のスポーツ活動の拠点であり、運動部活動の地域移行の受け皿の一つとしても期待される総合型地域スポーツクラブの運営体制構築や指導者確保に向けた取組を通して、地域スポーツの活性化を図ります。

【補助対象】

公益財団法人 愛知県スポーツ協会

【対象事業】

- **運営体制構築**
登録・認証制度の登録認定を目指すクラブに対して、運営実務（参加者募集、情報発信、関係者との連携など）をサポートするコーディネーターを派遣
- **指導者確保**
スポーツ教室等の充実に取り組むクラブに対して、県内の競技団体の指導者や、スポーツ医・科学人材（アスレティックトレーナーなど）を派遣

登録・認証制度

クラブの認知度向上などを目的とし、スポーツ指導者の配置や地域住民による主体的な運営、ガバナンスに関する規約の整備など、基準に適合するクラブを日本スポーツ協会が登録認定する制度。

(2022年度から全国で運用開始)

競技団体指導者やスポーツ医・科学人材を活用したスポーツ教室等の例

未就学児・小学生	アスレティックトレーナー等による身体的準備指導
中学生・高校生	県競技団体の指導者等によるハイレベルな指導や競技体験教室
高齢者	アスレティックトレーナー等によるコンディショニング指導
全世代	県パラ競技団体の指導者等による障害者スポーツ体験・交流会

愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 24,443千円

スポーツ局 競技・施設課
障害者スポーツグループ
内線 3972・2287
(ダイヤル) 052-954-7472

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、有識者や関係団体等の意見を踏まえた取組を進めるとともに、アジアパラ競技大会の開催機運醸成を図ります。

1 障害者スポーツ推進事業費 20,443千円

【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

【普及啓発】

- ポータルサイト「aispo!Do!」の運営
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 交流イベント「あいちパラスポPARK」の開催
誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出
ボッチャ等の競技用具を総合型地域スポーツクラブやリハビリ施設等へ貸出

【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- あいちパラスポーツサポーターの育成
障害者スポーツを理解し応援するサポーターを育成し認定
- 若手指導者の確保
障害者スポーツ指導員を取得予定の学生を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施

2 第5回世界身体障害者野球大会開催費負担金（新規） 4,000千円

2023年9月9日（土）、10日（日）にバンテリンドームナゴヤで開催される世界身体障害者野球大会の開催費に対する負担

アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた取組を進めます

スポーツ局アジアパラ競技大会推進課
調整グループ
内線 2855・2854
(ダイヤル) 052-954-6845

予算額 6,994,128千円
(外に債務負担行為 127,373千円)

2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」の開催に向けた取組を進めます。

○愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
負担金 5,269,241千円
大会運営に関する諸計画（競技、輸送・宿泊等）の作成、
競技会場仮設整備の基本設計、選手村の整備に向けた実
施設計など

○アジア・アジアパラ競技大会愛知・名古屋合同準備会
負担金 173,099千円
杭州大会閉会式の大会旗引継式（フラッグハンドオー
バーセレモニー）における次回開催都市「愛知・名古屋」
の魅力発信、観客輸送計画の策定など

○推進事務費 30,290千円
大会を活用した地域の活性化の推進など

○選手村後利用基盤整備事業費負担金 1,450,258千円
名古屋競馬場跡地で実施する造成、地区内道路・雨水
貯留施設・ライフラインの整備など

○アジア・アジアパラ競技大会市町村施設改修事業費
補助金 71,240千円
(外に債務負担行為 127,373千円)
市町村が所有する競技施設の改修事業費の一部を補助



PFI手法による新体育館（愛知国際アリーナ）の整備を推進します

スポーツ局競技・施設課
 新体育館室調整グループ
 内線 3980・3953
 (ダイヤルイン) 052-954-6819

予算額 110,893千円

設計・建設から維持管理・運営を一体として実施する「BTコンセッション方式」により、民間のノウハウを最大限活用しながら、2025年夏のオープンを目指し、新体育館（愛知国際アリーナ）の整備を進めます。

【事業内容】

- PFI事業者によるアリーナの建設
- 埋蔵文化財発掘調査において出土した遺物等の調査・分析等
- PFI事業者の財務面・法務面・技術面のモニタリング等

【スケジュール】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
新体育館 （愛知国際 アリーナ）	特定事業契約 締結(5/31) ● 設計	建設工事 着手(7月) ▲	建設 ●	竣工 ▲	開業準備(夏) ● 開業 ●	第20回 アジア競技大会 ▲
埋蔵文化財	● 発掘調査 ▲		● 遺物等の調査・ 分析及び資料整理 ▲		● 維持管理・運営(30年) ▲	

＜新体育館（愛知国際アリーナ）の概要＞

- ・ PFI事業者 株式会社愛知国際アリーナ
- ・ 建築面積 約26,500㎡
- ・ 延床面積 約63,000㎡
- ・ 階層 地上5階
- ・ 最高高さ 41.0m
- ・ 最大収容人数 17,000人（立見含む）
- ・ 事業計画地 名城公園北園の一部（約46,000㎡）



【外観イメージ】



豊橋市新アリーナの整備に向けた取組を支援します

予算額 27,500千円

スポーツ局競技・施設課
新体育館室運営グループ
内線 3980・3979
(ダイヤル)052-954-6819

豊橋市新アリーナにおいて、愛知県新体育館（愛知県国際アリーナ）とスポーツ大会やイベントの連携を図り、相乗効果をあげるとともに、賑わいを創出することにより、東三河地域のスポーツ振興及び地域振興を促進します。

1 補助対象経費

豊橋市が実施する基本計画等策定に係る経費

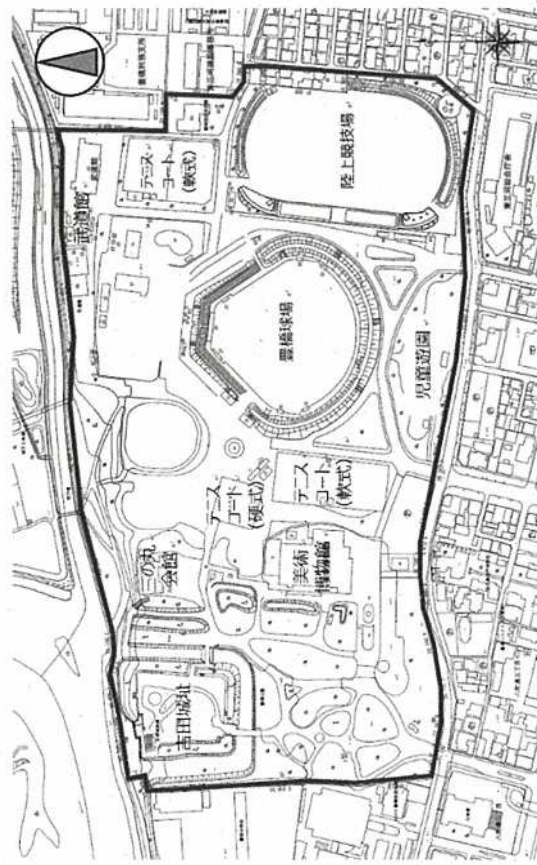
2 補助率

1/2

3 豊橋市新アリーナの基本的な考え方

- ・ 市民利用、B1リーグを始めとするプロスポーツや若者が魅力を感じるコンサート興行、コンベンション機能など、多目的利用が可能な5,000人規模のアリーナを目指す。
- ・ スポーツ、エンタメで街に賑わいをもたらす。
- ・ 特に、若い人を東三河全域+αから常時、集める。
- ・ 愛知県新体育館（愛知県国際アリーナ）のサテライトとして位置づけ連携する。
- ・ 整備手法は、PFI手法の「BTコンセッション方式」も視野に入れる。
- ・ 整備予定地は「豊橋公園」とし、武道館など他の公共施設との集約・複合化も視野に入れた整備とする。
- ・ 防災活動の拠点としての活用も想定した整備を行う。
- ・ スタートアップに対するインキュベーション機能を持たせることも視野に入れる。

【豊橋公園 現況施設配置図】



<スケジュール>

2022～2023年度	基本計画策定、公募資料作成
2023年度	事業者公募・選定
2024～2026年度	設計、建設
2026年度中	開業